

## 博士後期課程入学者選抜試験日程

### ◆令和6年10月入学

試験区分		出願期間	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日
1. 一般選抜	第2回	6月17日(月)～27日(木)	8月19日(月)～27日(火) (土・日及び祝日等を除く)	9月5日(木)
2. 特別選抜	2-1. 海外在住者対象 推薦入学特別選抜	事前提出締切：5月15日(水) 出願期間：5月7日(火)～31日(金)	面談及び書類選考	7月26日(金)
	2-2. 社会人コース 特別選抜	第2回 6月17日(月)～27日(木)	8月17日(土)～27日(火)	9月5日(木)

### ◆令和7年4月入学

試験区分		出願期間	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日	
1. 一般選抜	第1回	6月17日(月)～27日(木)	8月19日(月)～27日(火) (土・日及び祝日等を除く)	9月5日(木)	
	第2回	10月22日(火)～11月5日(火)	12月9日(月)～20日(金) (土・日及び祝日等を除く)	令和7年 1月24日(金)	
	第3回	12月4日(水)～17日(火)	令和7年2月3日(月)～14日(金) (土・日及び祝日等を除く)	令和7年 2月28日(金)	
2. 特別選抜	2-1. 海外在住者対象 推薦入学特別選抜		事前提出締切：11月14日(木) 出願期間：11月6日(水)～28日(木)	面談及び書類選考	令和7年 1月24日(金)
	2-2. 社会人コース 特別選抜	第1回	6月17日(月)～27日(木)	8月17日(土)～27日(火)	9月5日(木)
		第2回	10月22日(火)～11月5日(火)	12月9日(月)～22日(日)	令和7年 1月24日(金)
		第3回	12月4日(水)～17日(火)	令和7年2月3日(月)～16日(日)	令和7年 2月28日(金)
	2-3. 産学連携社会人 コース特別選抜	第1回	6月17日(月)～27日(木)	面談及び書類選考	9月5日(木)
		第2回	10月22日(火)～11月5日(火)		令和7年 1月24日(金)
		第3回	12月4日(水)～17日(火)		令和7年 2月28日(金)

### ◆令和7年10月入学

試験区分		出願期間	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日	
1. 一般選抜	第1回	12月4日(水)～17日(火)	令和7年2月3日(月)～14日(金) (土・日及び祝日等を除く)	令和7年 2月28日(金)	
2. 特別選抜			2-2. 社会人コース 特別選抜		令和7年2月3日(月)～16日(日)
2-3. 産学連携社会人 コース特別選抜			面談及び書類選考		

\* 修士の学位を有しない場合等、出願前に入学資格審査が必要となる場合がありますので、注意してください。

\* 上記及びその他詳細について、「Ⅱ. 入学者選抜」で必ず確認してください。

\* 令和7年10月入学の第2回の試験日程は、来年度公表の学生募集要項に記載します。

## 理念と目標

**理念** 北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

**目標**

- ・先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性ととも、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。
- ・世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。
- ・海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。

## アドミッション・ポリシー

本学は、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンスを基幹とした先端科学技術分野における研究への強い意欲と研究を通じた社会貢献に関して明確な目的意識を持ち、自分の考えを的確に表現でき、議論を通じて相互理解に努めようとする態度を持つ者を求めます。その際、学部を持たず大学院のみを置く大学として、過去の経歴や専攻分野にとらわれることなく、大学院等の修了者、外国人留学生及び社会人等を広く受け入れます。

入学希望者は、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンス及びその関連分野に関する専門的学力・能力を修得し、修士学位に相当する研究実績を有していることが期待されます。

上記の求める学生像を踏まえて、これまでの研究実績、入学後に学修・研究を行う上で必要となる専門的学力・能力及び意欲について、入学前の研究概要・入学後の研究計画等に関する出願書類及び面接（口頭発表及び口頭試問）により評価して入学者を選抜します。

なお、評価に当たっては、出願書類を参考にしつつ、面接結果を重視します。ただし、推薦入学特別選抜にあつては、面接を免除し、研究概要及び研究計画等の出願書類等に基づき、入学者を選抜します。

## ディプロマ・ポリシー

本学先端科学技術研究科先端科学技術専攻では、先端科学技術の確かな専門性ととも、持続可能な社会において求められる幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ社会や産業界のリーダーとして活躍できる高度科学技術イノベーション人材を育成することを教育目標としています。

博士後期課程においては、博士前期課程において修得すべき能力に加えて次の能力を修得し、専門分野において優れた研究業績をあげ、かつ、所定の単位を取得して博士論文審査及び最終試験に合格した者に、基幹となる学問分野（※）に応じて、博士（知識科学）、博士（情報科学）又は博士（マテリアルサイエンス）の学位を授与します。

博士後期課程において修得すべき能力

- ・ 専門分野における先端科学技術の理論や体系を幅広く理解する能力
- ・ 学術的に新規性、独創性のある研究を立案、遂行し、世界的に通用する研究業績をあげる能力
- ・ 俯瞰的な視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力

※基幹となる学問分野

知識科学：人・組織・社会の課題に対してデザイン方法論、経営学、システム科学などの知見を総合して魅力的な解決策を提案し、その実現方法を考える学問分野。

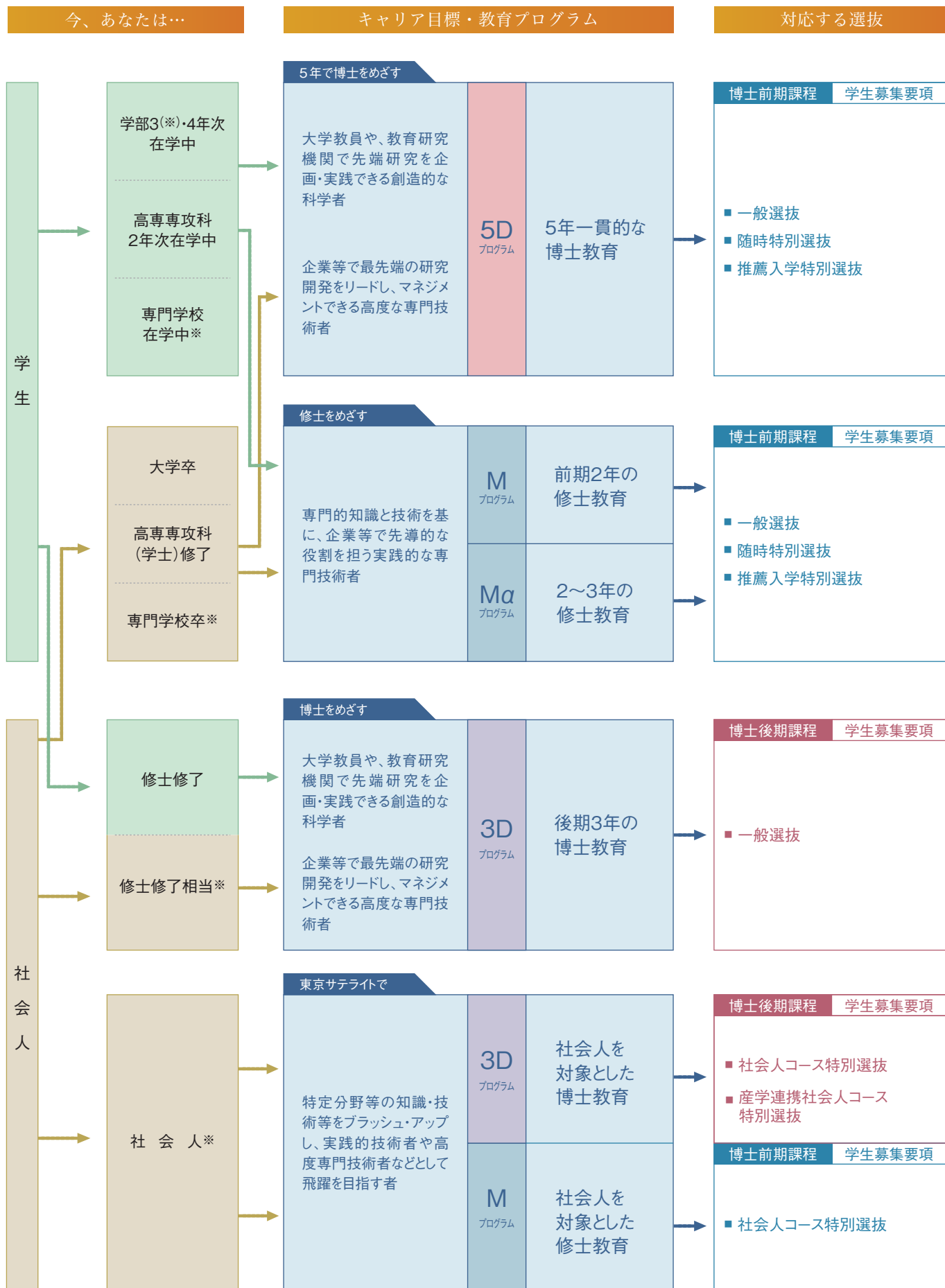
情報科学：情報化社会を支える情報処理・通信に関する技術（ICT）において、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指し、新たな革新的基礎理論・基盤技術・応用を創り出す学問分野。

マテリアルサイエンス：物理・化学・生物及びそれらの関連科学技術を基として、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指して、新たな革新的マテリアルを創り出す学問分野。

# 研究領域の特徴

研究領域名	概要	キーワード
創造社会デザイン 研究領域	誰もが輝く創造社会をデザイン！ 科学・技術・芸術を融合・超越する豊かな生活のための知の冒険	創造性支援、ソーシャルネットワーク、デザイン思考、ヒューマンコンピュータインタラクション、メディアインタラクション、ビジュアルコンピューティング、防災科学、レジリエンス工学、アーバンデザインと健康、ネットワーク科学、コラボレーション、異文化理解、行動変容技術、身体性認知、STEAM 教育、データ科学/AI 応用
トランスフォーマティブ知識経営 研究領域	人間がウェルビーイングを実感・追求できる社会の推進に向けた変革志向の知識経営理論の構築および実践的問題解決を目指す	ウェルビーイング、知識創造、組織変革、グリーンサービスイノベーション、サステナビリティ、価値デザイン、IoT デザイン、持続可能性、医療現場のエスノグラフィ、ビジネスエスノグラフィ、次世代観光サービス創造、サービスインテリジェンス、人工知能
共創インテリジェンス 研究領域	テクノロジーと人間の共創的な知識創造の研究を通じて、高度知識社会を持続的に発展・進展させる新たな知性を探求する	知識科学、知識創造、認知科学、データ科学、人工知能、言語・コミュニケーション、言語の哲学、意思決定論、メタ認知、教育工学、複雑系、創発・進化・制度、機械学習、計算科学、社会言語学、言語政策、創造プロセス、アイデア創出、経験学習、協調学習、学習プロセスデザイン
コンピューティング科学 研究領域	計算を科学し、計算できることの限界を知り、膨大なデータから正しい結論を導く方法を明らかにする	情報科学、情報セキュリティ、数理論理学、人工知能、定理自動証明、形式手法、理論計算機科学、データサイエンス、分散システム、アルゴリズム、情報理論
次世代デジタル社会基盤 研究領域	未来の社会を実現し、人類の発展を支える次世代情報システムの研究を推進	スマートシティ、サイバーセキュリティ、IoT、インターネット、情報システム、組み込みシステム、ソフトウェアエンジニアリング、形式手法、次世代ワイヤレス・センサ通信、超 LSI 設計法、AI プラットフォーム
人間情報学 研究領域	人間の情報処理機構を解明し、より高度な情報処理システムへと応用する	知覚・知能情報処理、社会的信号処理、マルチモダリティ、コミュニケーション、教育・学習工学、ゲーム情報学、自然言語処理、音声情報処理、画像・映像情報処理、ヒューマンインタフェース、知能ロボティクス
サステナブルイノベーション 研究領域	持続可能な環境エネルギー・経済社会システム構築のためのイノベーションを！	持続可能エネルギー、熱電、太陽電池、人工光合成、天然分子、サイレントボイスセンシング、マテリアルズ・インフォマティクス、人工知能理論、量子シミュレーション
物質化学フロンティア 研究領域	化学分野の先端知識を用いて新材料を分子・原子レベルで設計することを通して、物質化学のフロンティアを開拓する	ナノ材料化学、高分子化学、グリーンケミストリー、触媒化学、エネルギー関連材料、環境調和材料、バイオマテリアル、マテリアルズ・インフォマティクス、ナノマシン、高速 AFM イメージング、レオロジー、光機能性材料、オペランド解析
ナノマテリアル・デバイス 研究領域	ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を探求し、サステナブルな超スマート社会の実現を目指す	ナノ粒子×バイオ・エネルギー、ナノワイヤ×スピンドライブ、二次元材料×先端顕微鏡、ナノイメージング×分光、原子分解能観察×オペランド計測、非線形光学顕微鏡×対称性の破れを持つ材料、ナノ分光×超微量分析、スピントロニクス×量子センシング、半導体エレクトロニクス×デバイス計測技術、トランジスタ×機能性材料、ナノペーパーデバイス×低温結晶化プロセス、有機デバイス×オペランド解析、マテリアルサイエンス×DX・データ、ソフトロボット、触覚センシング
バイオ機能医工学 研究領域	バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究とバイオメディカル分野への応用展開	バイオテクノロジー、バイオメディカル、タンパク質、DNA/RNA、生体膜、糖鎖、バイオ分子解析、人工バイオ分子創出、バイオデバイス、遺伝子編集、分子ロボティクス

# キャリア目標・教育プログラムと選抜試験



※入学資格審査を要する場合がありますので、詳細は、募集要項の各選抜のページで確認してください。